

## 「万人に対応するミュージアムを目指して ～ICOM, オリパラへの対応, ユニバーサルデザインの可能性～」

2019年及び2020年、我が国において開催されるICOM, オリパラに向けて、ミュージアムの経営・事業展開時の体制を強化する目的で、現状の施設や展示、さらには、研究員のスキル、能力の面等において見直しや改善策を講じる必要がある。万人に対応するミュージアムを目指す際、その多岐に渡る利用者への対応は正に多様である。

第1回研究会は、その中から、急増する外国人利用者や、身体に障害を持たれている方々が利用する際の課題として、ミュージアムが発信する情報提供の面における多言語化、多機能化、そして、活用しやすい施設のあり方、展示手法改善、講座、観察会時における研究員のスキル等について議論する場とする。

日 時：平成29年12月2日（土）13時00分～16時45分  
（受付12時30分～）

場 所：科学技術館 6階第1会議室（東京都千代田区北の丸公園2番1号）

参加費：無料

### \*\*\*\*\*研究会スケジュール（プログラム）\*\*\*\*\*

(1) 研究部会趣旨説明：13時00分～13時15分

新 和宏（研究部会長 千葉県立中央博物館 分館 海の博物館長）

(2) ケーススタディー1：13時15分～14時00分

「江戸東京博物館常設展示室における多言語化の取組み」

小林 愛恵 氏

（東京都江戸東京博物館 展示企画課展示事業係 主事（学芸））

(3) ケーススタディー2：14時00分～14時45分

「博物館との連携による豊かな学び

—筑波大学附属聴覚特別支援学校の実践事例から—

金子 俊明 氏

（筑波大学附属聴覚特別支援学校 教諭）

< 休 憩 > 14時45分～15時00分

(4) パネルディスカッション：15時00分～16時45分

コーディネーター：新 和宏

パ ネ ラ ー：上記ゲスト等

参加ご希望の方は、①お名前②所属③ご連絡先（電話・メールアドレス）を明記の上、

下記までお申し込みください。

【お申込み先】日本ミュージアム・マネージメント学会事務局

〒135-0091 東京都港区台場2-3-4 (株)乃村工藝社 文化環境事業本部内

電話・ファックス 03-3521-2932 / メールアドレス kanri@jmma-net.org

※学会HPの専用申込フォームもご利用いただけます。http://ssl.edinc.net/research/